

【学位授与の方針】

融合理工学府博士後期課程 数学情報科学専攻

数学・情報数理学コース

「自由・自立の精神」

高度な数学的手法をもとに、純粋数学、応用数学、情報数理という枠組にこだわることなく連続した分野として視野に入れ、自ら研究課題を設定し、自立した研究活動を行することができる。また、科学における研究倫理を身につけることができる。

「地球規模的な視点からの社会とのかかわりあい」

数学、情報数理学についての豊かな学識および論理的思考をもとに、高度な研究能力を身につけることで自らの価値を高め、社会の諸分野で自らの活躍の場を追求できる。またグローバルな視点を持ち、研究成果を国際的に発信できる。

「専門的な知識・技術・技能」

数学的思考の礎となる数学、情報数理学の専門的な知識および技法を習得し、高度な研究能力を身につけ、新しい知見を得ることができる。

「高い問題解決能力」

高度な専門領域の知識を身につけ、それをもとに問題を整理、抽出して課題を設定し、主体的に研究計画を立て、論理的思考と自由な発想で研究を遂行することができる。その成果を国際的なレベルで他者と共有したり、プレゼンテーションすることができる。

情報科学コース

「自由・自立の精神」

高度情報化社会を支える多様な研究・教育機関の中核を担う研究者もしくは大学教員を目指す人材として、自ら研究課題を設定し、自立した研究活動を行うことができる。また、専門分野における研究倫理を身につけて、主体的に行動できる。

「地球規模的な視点からの社会とのかかわりあい」

地球規模の視点から社会と連携して、情報科学の深い学識に基づいて自ら課題を設定し、自立的な研究開発を行い、その成果を国際的・学際的に発信できる。また、多様な分野の人材と協調・協働しつつ、高度情報化社会における指導的人材として、社会の持続的な発展のために活動することができる。

「専門的な知識・技術・技能」

数理学や認知科学を基礎とした広範な情報科学分野の豊かな学識を持ち、情報科学を創造的に活用して、イノベーションの創出を目指すことができる。また、高度情報化社会における研究開発プロジェクトの企画・管理等を行うことができる。

「高い問題解決能力」

情報科学分野の情報・知識を多様な分野の人材と共有しながら指導的に協調・協働し、高度情報化社会を支える新たな知見や価値を創出することができる。